

2025 年度 第 1 回 一般社団法人 日本地球化学会理事会 議事録

日時 2025 年 8 月 28 日 (木) 13:00-15:40

場所 zoom によるオンライン開催

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/86427858558?pwd=Elxbxww9md6fvvi21b4eg5rV4auDWa.1>

出席者 高橋 嘉夫, 南 雅代, 飯塚 理子, 板井 啓明, 上野 雄一郎, 太田 充恒, 小川 奈々子, 小畑 元, 小木曾 哲, 白井 厚太郎, 瀬戸 繭美, 橘 省吾, 平田 岳史, 古川 善博, 堀 真子, 丸岡 照幸, 山口 瑛子, 山本 順司, 若木 重行, 川幡 穂高 (監事), 吉田 尚弘 (監事)

欠席者 横山 哲也, 黒田 潤一郎, 癸生川 陽子, 角皆 潤

オブザーバ 鈴木 勝彦, 田中 万也, 豊田 栄, 羽場 麻希子

1. 審議事項

1.1 2025 年度年会

若木企画幹事および古川理事より, 2025 年度年会のスケジュールや準備状況等について資料に沿った提案があり, 承認された。

1.2 年会のプログラム

若木企画幹事および古川理事より, 2025 年度年会のプログラムについて資料に沿った提案があり, 承認された。講演申込に不備が多くあったことから、システムの改修を今後検討していく必要があることが報告された。

1.3 年会の学生発表賞

若木企画幹事より, 学生発表賞について説明があり、エントリー資格がない方の人数は昨年よりも減少したことが報告された。

1.4 2025 年度ショートコース

若木企画幹事より, 2025 年度ショートコースについて資料に沿って説明があり、講師およびナノテラス見学会の担当者に謝礼を支払うことが提案され、承認された。

1.5 定時総会について

板井総務幹事より, 2025 年度定時総会の準備状況やスケジュールについて資料に沿って説明があった。

1.6 2024 年度 事業報告, 決算・監査報告 (総会の第 1 号、第 2 号議案)

山口庶務幹事および豊田会計幹事より, 2024 年度事業報告および決算・監査報告に

ついて資料に沿って提案があり、承認された。

1.7 2025-2026 年度役員の選出（総会の第 3 号議案）

板井総務幹事および丸岡選挙管理委員長より、選挙結果について資料に沿った説明があり、承認された。また、次期理事会の幹事候補についても説明があった。

1.8 2025 年度 事業計画案、予算案〔庶務、会計〕

山口庶務幹事および豊田会計幹事より、2025 年度事業計画案および予算案について資料に沿った提案があり、予算案の支出部分は見直すことで、承認された。

1.9 夜間集会プログラム

高橋会長より、2025 年度年会における夜間集会では和文誌「地球化学」について議論することが確認された。

1.10 次期地球化学編集長について

高橋会長より、2026 年 1 月からの地球化学編集委員長として角皆潤理事が推薦され、承認された。

1.11 和文誌の発行回数・形態の見直しについて

高橋会長より、和文誌「地球化学」について見直しを行っていくことが確認された。

1.12 2025 年度第一回鳥居・井上基金

山口庶務幹事より、2025 年度第一回鳥居・井上基金について A 助成 1 件と B 助成 1 件の応募があったこと、およびそれらの審査結果が報告され、承認された。

1.13 学会メーリングリストのシステム変更について

山口庶務幹事より、学会メーリングリストのシステムが変更され、これまでの誰でも配信できる仕組みから、幹事および広報委員会のみが配信できる仕組みに変更されることが説明された。

1.14 会員システムの自動・オンライン化

太田会計幹事より、入会申込は原則オンラインのみとし、申込後は自動でメールが配信され振込書の送付が原則不要になるシステムへの変更が提案され、承認された。

1.15 終身会員制度の見直しについて

太田会員幹事より、終身会員になる場合の金額シミュレーションについて説明があり、

規程等は現状のままで、わかりやすい案内をウェブページで行うことが提案され、承認された。

1.16 JpGU プログラム委員の報告および次期委員について

山口庶務幹事より、2025 年度の JpGU 共催報告およびプログラム委員の交代について報告され、承認された。

1.17 その他

山口庶務幹事より、過去に学生発表賞を受賞した方の受賞証明を行うこと提案され、承認された。受賞証明書では、発行日を記載し学会印の印影を入れる一方で、現会長の名前は入れないこととなった。

2. 報告事項

2.1. 会長

高橋会長より、次期理事会への申し送り事項、EAGE との MOU、教科書執筆、2027 年度の年会、日韓シンポジウム、若手会、および協賛企業について報告された。

2.2. 地球化学編集委員長

田中地球化学編集委員より、企画中の特集、編集状況、発行状況、執筆依頼について報告された。

2.3. GJ 編集委員長

鈴木 Geochemical Journal 編集委員長より、編集状況、発行状況、表彰、今後の取り組みについて報告された。

2.4. 出版幹事

丸岡出版幹事より、GJ クーポンや表彰について報告された。

2.5. 広報幹事

高橋会長より、ウェブサイト更新、ニュース記事、JpGU および Goldschmidt 会議に関する対応、今期の課題について報告があった。

2.6. 会員幹事

太田会員幹事より、2025 年 3 月から 7 月の会勢について資料に沿って報告があった。

2.7. 会計幹事

豊田会計幹事より、年会関連、GJ 科研費の交付決定、寄附のお願い、2024 年度の寄附、および金額の大きな出納案件について資料に沿って報告があった。科研費口座のインターネットバンキング利用手数料については科研費からの支出が難しいため、一般会計から支出することとなった。

2.8. 国際幹事

上野国際幹事より、2028 Goldschmidt 会議の日本招致、2025 年度年会における日台シンポジウム、および韓国地質学会より依頼の日韓シンポジウムについて報告があった。

2.8. 総務幹事

板井総務幹事より、選挙の実施および総会準備について報告があった。

2.9. 庶務幹事

山口庶務幹事より、規程の整理、学会ウェブページ、助成金および受賞、共催会議、出版物の利用依頼、および今後の予定等についての報告があった。

その他

会長より、JpGU 教育検討委員会委員の業務内容について紹介があり、津野会員の後任として教育系の大学に所属する会員を中心に後任を検討することとした。

以上の議事を終え、16 時 40 分に閉会した。